

## 平成10年度第1回幹事会報告

平成10年4月16日  
淀川キリスト教病院

## [報告・協議事項]

事務局(総務・会計・企画): ①平成10年度の役員委嘱願いの発送(4/1)。②平成10年度の会費請求書の発送(4/10)。③日本医学図書館協会の第69回総会(5/21, 22 自治医科大学地域医療情報研修センター)に事務局長(小田中徹也)が出席の予定。④新会員(4/1付); 医療法人中央会尼崎中央病院、富山市立富山市民病院。⑤会員異動; 会員異動欄参照。⑥共同事業; ●インターネット・プロジェクトでは、チームを編成し共同運営のホームページを現在、編集中。当協議会からは、小田中徹也、大橋真紀子、須井麻由美の3名がチームメンバーとして参加。●病院図書館員認定資格制度検討班では、4月18日に国立京都病院で班会議を開き、アンケート調査結果の分析と検討をする。担当は首藤佳子。→5月9日、聖路加国際病院において、第3回共同事業運営会議を開き、共同運営ホームページ“folio”(http://www.hosplib.org/folio/)の公開を了承した。また教育認定制度化へ向けて、検討課題、役割、スケジュールを協議した。

研修部: 平成9年度総会当日に開催した第85回研修会(事例報告会)の参加者は、35人であった。また、今年度の研修企画の中では、夏のセミナーは昨年ひきつづき企画すること、春の初心者向け勉強会は定例研修会として新任者向けをベースにしながらも、協議会紹介や図書館員の仕事全般など、実務以外のプログラムも盛り込むことにした。なお、研修部担当の専任幹事は今年度は新幹事一人のため、事務局長が研修部長を兼任することにした。

会誌編集部: 17巻4号1997年の発行について、発行遅れが原因による発行日と記事内容との

ギャップが問題となったことが報告された。特に一部の記事(首藤論文)については、他の図書館関係雑誌、団体との間で混乱を生じかねないため、編集部から陳謝することにした。記事づくりに会員からの声を反映させるため、アンケートをとった。18巻1号1998年以降の記事企画の報告があり、検作用CD-ROMの比較特集などが報告された。また、新年度の編集体制についても報告があり了承された。

統計調査部: 特になし。

目録編集部: 医学雑誌総合目録改訂版を3月31日付で会員へ発送した。なお、個々の会員のデータ・ファイルについては希望する機関へは実費で提供することにした。(費用についてはK.K.サンメディアと交渉の上、決定し扱いも同社に依頼することにした。)また、次回改訂時には全会員へ個々にデータ・ファイルを配布することにした。

## [決定事項]

## (1)幹事役割分担

事務局: 会計/ 松本純子  
総務/ 山崎捷子  
企画/ 首藤佳子  
研修部: 小田中徹也+ 田中典子  
山室真知子 田中文子\*  
林 伴子\* 徳田雅子\*  
亀井真由美\* 岸田郁葉\*  
会誌編集部: 前田元也+ 森川治美  
須井麻由美 中嶋和子\*  
浜口恵子\* 大橋真紀子\*  
堀江亜由美\* 春日井泉江\*  
統計調査部: 山崎捷子+ 木下久美子\*  
目録編集部: 山室真知子+ 西村和代\*  
(+: 事業部長、\*: 一般会員、小田中徹也は事務局長と兼任)

(2)協議会パンフレットの作成について  
昨年から懸案となっていた協議会の組織や事業活動を紹介するパンフレットの作成に向け、企画担当幹事が次回幹事会にその構成案を提出する。